

# 答 申 書

～常呂自治区内事業の今後のあり方について～

平成27年11月  
常呂まちづくり協議会



平成27年11月20日

北見市長 辻 直 孝 様

常呂まちづくり協議会  
会長 山 内 光 明

常呂自治区内事業の今後のあり方について（答申）

平成27年8月31日付けで諮問のありました常呂自治区内事業のあり方について、慎重に協議を重ねました結果、別紙のとおり答申いたします。



## ～答申にあたって～

常呂まちづくり協議会は、平成27年8月31日の第2回協議会において、市長から「常呂自治区内事業の今後のあり方について」諮問を受け、北見市の将来像『ひと・まち・自然きらめく オホーツク中核都市 ー安心な活力都市 北見ー』の実現に向け議論を重ねてまいりました。

当協議会では、北見市総合計画やこれまでの実施計画にかかる審議経過等を踏まえながら、今後の「常呂自治区におけるまちづくり」を進めるにあたり、懸案となっている各種事業について議論を行いました。

答申にあたりましては、北見市総合計画の基本構想に掲げられた6つの基本目標ごとに各種懸案事業についての審議を行い、協議会としての意見を総括的に取りまとめたほか、常呂自治区としての今後の事業のあり方や優先度についてまとめました。

議論にあたりましては、現下の厳しい財政状況を認識しながらも、常呂自治区の発展方向について率直な議論を積み重ね、取捨選択を実施した結果、15事業を最優先事業として掲げました。



市長におかれましては、第8次実施計画事業等における常呂自治区に関連する事業を選択するにあたり、このような議論経過をご理解いただくとともに、事業の重要性や緊急性などをご精査のうえ、早期に事業を推進していただきますようお願いいたします。

また、北見市の厳しい財政状況の中、限られた財源で効率的にまちづくりを実現していくため、行財政改革に積極的に取り組んでいただくとともに、本協議会で出された意見等については、今後策定される諸計画や行財政運営の中でご配慮いただくとともに、自治区の特性を活かしたまちづくりの推進に向け、新市長のリーダーシップが発揮されることを期待いたします。

# 常呂自治区内事業の今後のあり方について

～「第8次実施計画」に盛り込むべき事業～

## 基本目標1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎防災行政無線整備事業

常呂自治区は、オホーツク海、サロマ湖に面し、常呂川の最下流域でもあることから、他の自治区に比べ、津波や洪水など災害の危険性の高い地域として認識されています。このため、平成24年度には、防災情報を市民に正確かつスピーディーに伝達する対策として、同報系防災行政無線の更新整備が実施され、平成25年度から運用を開始しています。

しかしながら、行政側の情報伝達の要となる移動系無線の老朽化が著しく、また、総務省においても通信システムの高度化と電波の有効利用の観点からデジタル化への移行が求められている状況にあることから、有事に備え、移動系無線の早期更新整備（デジタル化）を求めます。

#### ◎常呂町斎場整備事業

常呂町斎場は、建設からすでに36年が経過し、経年劣化や塩害などにより老朽化が進行している施設で、適宜、補修をしながら施設の維持・管理が行われておりますが、外壁やエントランス部分のモルタルが剥がれ落ちる状況などもあることから、施設の運営に支障を来たさないよう早急かつ計画的な改修整備が必要です。



常呂町斎場

斎場のあり方については、現在、市所管部を中心に検討が進められておりますが、常呂まちづくり協議会のこれまでの議論では、距離的なことや冬期間の道路事情、町内会を中心とした葬儀のあり様がくずれるなど懸念する意見が多い状況にあり、今後さらに議論を深めていく必要があります。

## ◎ワッカ原生花園自然再生事業

ワッカ原生花園には、森と草原、砂丘や湿地までが混在し、帰化植物を含めると300種類以上の草花が咲き誇り、その生態系は多様です。平成3年、植生や生態系を保護していくため、この原生花園を縦断する24キロメートルにも渡る道路の交通規制を行い、一般車両の乗り入れを禁止するなど、植生・生態系保護を最重要課題として選択してきました。



近年、ハマナス群落全体がすす病により黒色化し萎縮、枝葉の枯死が見られるなど植生の衰退が顕著な状況にあります。

複合的で多様な要因によることが推測されますが、「ワッカ自然環境保全宣言」を行った北見市として、美しい自然を末永く後世に伝えるために、環境科学に基づく様々な要因を検証する調査が必要です。

### 〈優先事業〉

- ごみ収集運搬委託（車両更新）事業
- 常呂町一般廃棄物処理センター整備事業

常呂自治区のごみを収集・運搬する粗大ごみ収集車は老朽化に伴うトラブルが多発しており、導入後15年以上が経過しているため修理のための部品の調達も難しい状況にあります。

車両の安全性確保と当該業務の運営に支障を来たさぬよう、塵芥収集車及び資源ごみ収集車と併せて計画的な車両の更新整備が必要です。

常呂町一般廃棄物処理センターは、汚水処理施設、破碎処理施設、ストックヤード、最終処分場の4つの施設で構成されており、常呂自治区全域から年間約1,700トンあまり排出される一般廃棄物进行处理する重要な施設であります。

施設機能の低下・トラブルを避け、適切な運営管理を図るためにも各施設の計画的な修繕が必要です。

## 基本目標 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎川治小学校校舎屋根塗装事業

#### ◎常呂小学校体育館屋上防水事業

川治小学校は昭和58年に建設されてから30年以上が経過し、校舎屋根の老朽化が著しく教室等の一部が雨漏りしています。また、常呂小学校においても平成6年に建設されてから20年以上が経過し、屋上防水の経年劣化が著しくステージ及び体育館が雨漏りしており、それぞれ授業等に支障を来たしている状況にあります。

児童の学習・生活に必要な空間・学習環境を確保するために適切で早期の施設整備が必要です。

#### ◎常呂町多目的研修センター施設整備事業

常呂町多目的研修センターは、文化祭や成人式、オホーツク大学などの社会教育活動のほか、各種イベントなどで広く利用される施設であります。暖房用ボイラーにおいて経年劣化に伴うトラブルを抱えており、施設の運営に支障を来すことが懸念される状況にあることから、暖房用ボイラーの早期更新整備が必要です。

#### ◎常呂町カーリングホール備品購入事業

全国規模の大会が開催される「アドヴィックス常呂カーリングホール」は、地元利用者をはじめ、全国各地のカーリングチームや愛好者など大変多くの方々に利用されています。

当該施設には昼食などに利用する休憩スペースとして2階に交流サロンを設置していますが、6卓のテーブルと24脚のイスしかないので利用者の中には観覧席をテ





ーブル代わりに使用する方も多く、衛生面において好ましい状況ではないことから、テーブル・イスを増設し、利用者の利便性の向上を図る必要があります。

また、カーリングホールのアイスメイクに重要な製氷機が更新時期を迎えており、適切な競技環境の維持・確保のために計画的な更新整備が必要です。

### ◎常呂町スポーツセンタートレーニング室機器整備事業

常呂町スポーツセンター内にあるトレーニングルームは、地元スケート少年団を始めとする地域団体・個人の利用のほか、近年、アドヴィックス常呂カーリングホールでの合宿の一環としての利用者が増加しています。

一方、昭和 51 年開館当初より使用しているトレーニング機器は老朽化しており、カーリングホールと一体となったスポーツ施設としての機能の充実を図り、継続した合宿受け入れ環境の向上を図るため、また、市民の健康維持増進の拠点施設として、利用者のニーズに対応したトレーニング機器の計画的な更新整備が必要です。

### ◎史跡常呂遺跡整備事業

史跡常呂遺跡整備事業は、オホーツク文化・アイヌ文化期を主体とする常呂川河口遺跡にかかる事業であり、「ところ遺跡の森」とあわせて北海道固有の連続した各文化期の建物などの復元を行うことにより、地域の歴史や文化、自然教育の学習拠点としての整備を目指すもので、引き続き、史跡整備専門委員会をはじめ、国や北海道などの関係機関に対し、積極的に働き掛けを行い、文化財の保護、啓発に努めていく必要があります。

また、「ところ遺跡の森」の「復元竪穴住居」の老朽化が著しいことから、再建に向けた計画的な整備が必要です。



ところ遺跡の森

## ◎常呂遺跡世界遺産登録推進事業

常呂遺跡世界遺産登録推進事業は、常呂遺跡の学術的価値やその重要性を広く世界に発信し、多くの人々に理解を深めていただくとともに、地域の活性化にもつながる大変重要な事業であります。

世界遺産への登録にあたっては、地域住民の関わりと多様な取り組みがその評価を左右する大きな要因になることから、文化財についての理解を深める取り組みを展開するなど、より一層の推進を図るとともに、関係市町村と連携し、オホーツク圏域全体で盛り上げていくことが必要です。

### 〈優先事業〉

- 川沿小学校旧校舎解体事業
- 旧常呂町カーリングホール整備事業
- 常呂町野球場整備事業
- 常呂町屋内多目的競技場整備事業
- 常呂町健康温水プール整備事業
- 常呂町スポーツセンター整備事業
- 常呂町スポーツセンターシャワー改修事業
- ところ遺跡の森運営管理事業

川沿小学校の旧校舎は、昭和 35 年に建設された施設で、現川沿小学校校舎が整備されてからは倉庫等に使用されてきましたが、経年劣化による老朽化が著しく、景観や防犯上の懸念もあることから早期の解体撤去が必要と考えます。

旧カーリングホールは、適切な施設管理を図るため、地下タンクの閉鎖及び附帯設備の撤去が必要な状況にあります。

常呂町野球場、常呂町屋内多目的競技場、常呂町健康温水プールは、市民の健康維持・増進を図るための施設として大事な施設であります。それぞれ塩害や経年劣化による老朽化が著しく、施設運営等において支障を来す状況もあり、安全管理の面からも計画的に維持補修を行うなど公共施設として適切な対応が求められます。

常呂町スポーツセンターは、耐震診断等施設の現況について調査するとともに、施設の適切な改修・修繕が必要なほか、サロマ湖 100kmウルトラマラソンやオホーツクサイクリングといったイベントに全国各地から訪れるたくさんのランナーやサイクリストが快くイベントに参加できるよう、ボイラーシステムを改善する必要があります。

ところ遺跡の森運営管理事業は、ところ遺跡の森開園から 22 年が経過し、各施設・設備の老朽化が著しく、施設の運営に支障を来たすことが懸念される状況にあることから、遺跡の森における木橋の修繕や遺跡の館におけるガイダンスホールモニター、暖房設備の更新といった計画的な対応が必要です。

## 基本目標 4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎ワッカ原生花園周辺施設整備事業

ワッカ原生花園のビジター施設として設置されているサロマ湖ワッカネイチャーセンターでは、正面中央の支柱内部が経年劣化により一部空洞化しており、適切な措置が必要となっております。

また、隣接する観光馬車小屋では外壁・軒天の色あせや破風の破損が大きく景観を損ねており、駐車場では各所で歪みが発生しているなど、観光施設として適切な対応が必要です。

ワッカ原生花園は北海道遺産にも選定され、多くの観光客が訪れる道東観光における有数の景勝地ではありますが、オホーツク海とサロマ湖に挟まれた自然環境の厳しい地域であることから、当該ワッカ地区にある各種施設の老朽化が著しく、観光施設として適切な対応を図るとともに、集客に向けた積極的な取り組みが必要です。



サロマ湖ワッカネイチャーセンター

#### ◎常呂常南ビーチ海水浴場周辺施設整備事業

常呂常南ビーチ海水浴場は、オホーツク管内で開設する数少ない海水浴場で、オホーツクの短い夏を楽しむ場として利用されており、その周辺には遊歩道やサイクリングロードなども整備されています。また、秋には前浜でヨットレース全道大会が開催され、冬には流水を望むことができるなど、1年を通じて、

多くの市民・観光客に親しまれています。

常呂常南ビーチを訪れた多くの方々が快適に過ごすためにトイレ・シャワーを完備した施設が整備されていますが、経年劣化による外壁や電気設備の破損が著しく、大きく景観を損ねており、観光施設として適切な対応が必要です。

## 〈優先事業〉

- 多面的機能支払交付金事業
- かんがい排水事業（明渠排水） 常呂地区
- 畑地帯総合整備（担い手育成） 常呂福山地区
- 一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号
- 常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業
- 常呂地区排水機場施設設備整備事業
- 常呂地区幹線排水路維持管理事業
- 手工芸の館整備事業
- 常呂森林公園整備事業

多面的機能支払交付金事業は、地域の活動組織が取り組む農地や用水路等の維持管理や環境保全に対し支援するものであり、継続的な支援・推進が必要と考えます。

かんがい排水事業、畑地帯総合整備事業、常呂地区明渠排水路取付横断管応急対策事業、常呂地区幹線排水路維持管理事業については、常呂自治区内の排水路及び横断管の整備・補修を実施する事業であり、農作業の安全確保や排水機能の改善、湛水被害の解消を図るため、継続的な推進が必要と考えます。

一般農道整備事業（農道保全）は、富丘地区、豊川地区の主要道路である市道15号の改修整備で、大型車両等の通行が多い道路であるため路肩の変形や舗装の損傷が著しく、道路の安全性向上に向けた早期対応が求められています。

常呂地区排水機場施設設備整備事業は、常呂自治区内に湛水被害防止のための施設として4つの排水機場を設置していますが、それぞれ年数が経過しており、ポンプ等設備機器の経年劣化が懸念される状況にあることから、各施設の安定した稼働確保ため設備機器の計画的な更新整備が必要です。

手工芸の館は、地域の文化産業である「流水焼」の普及や体験型観光施設としての役割を担ってありますが、建築後32年が経過し、経年劣化により屋根・外壁の傷みが顕著な状況にあることから、早期改修が必要です。

常呂森林公園整備事業は、公共施設として環境衛生に配慮した適切な対応が必要であり、特にパークゴルフ場のセンターハウスやバーベキューハウスなど利用の多い施設については、浄化槽への改修整備が必要です。また、アスレチック遊具、林間歩道連絡橋、四阿（あずまや）については、経年劣化により危険な状況にあることから、早期の解体撤去が必要です。

## 基本目標5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎市営住宅建替事業（常呂）

常呂自治区内には、62棟300戸の市営住宅が建設されていますが、そのうちの53棟214戸は老朽化の著しい住宅となっていることから、今後の需要動向や利用者のニーズを考慮するとともに、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき、適切に整備改修されることが求められます。

今回計画されている末広団地は、現在解体中の旧常呂国民健康保険病院跡地に弁天・東浜団地を集約するもので、市街地の町並み整備と未利用地の有効活用、公営住宅利用者の利便性向上など、常呂自治区のまちづくりにとって大変重要な事業となるものであり、当該事業の計画的な推進が必要です。



### 〈優先事業〉

- 常呂地区特定環境保全公共下水道整備事業（雨水管渠）
- 常呂地区特定環境保全公共下水道整備事業（污水管渠）
- 常呂終末処理場整備事業
- 送配水施設整備事業（簡易水道）
- 栄浦地区道路整備事業（常呂）

- 常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町南町1号線道路整備事業（常呂）
- 常呂町基線道路整備事業（常呂）
- 常呂町南1条線道路整備事業（常呂）
- 常呂町川端線道路整備事業（常呂）
- 常呂町西10線道路横断管整備事業（常呂）
- 朝日橋撤去事業（常呂）
- オーバーレイ舗装整備事業（常呂）
- 建設機械更新事業（社会資本整備総合交付金：常呂）
- 市営住宅改善事業（常呂）

特定環境公共下水道事業、常呂終末処理場整備事業、送配水施設整備事業は、安全な水道水の安定供給や排水処理施設の整備による生活環境の改善、浸水被害の防止など極めて重要な事業であり、中長期的な視点に立った計画的な事業の推進が必要と考えます。

各道路整備事業やオーバーレイ舗装整備事業は、道路管理の効率化や市民生活に直接かかわる生活道路の整備、安全な道路環境を維持するための事業であり、計画的な整備・推進が必要と考えます。

朝日橋は、豊浜・弁天方面と市街地を結ぶ主要ルートとして昭和39年に架設された橋梁であります。河川増水時の二次的災害の懸念や景観等周辺環境の改善を図るためにも、引き続き早期に対応する必要があります。

建設機械更新事業については、冬季除雪作業のための車両の更新であり、安全な道路環境を維持するために計画的な整備更新が必要と考えます。

市営住宅改善事業は、市営住宅の長寿命化及び居住性の向上を図るための事業であり、北見市住宅マスタープラン及び北見市公営住宅等長寿命化計画に基づき整備されるものですが、改築にあたっては、災害に強いまちづくりの観点から市営住宅のあり方について、検討する必要があると考えます。

また、市営住宅の利活用については、各自治区における利用状況や地域のニーズを考慮し、有効的に活用できるよう検討されることが望まれます。



## 基本目標6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

### 《最優先事業》

#### ◎常呂総合支所電話交換機交換事業

電話は現代において必要不可欠な情報連絡手段であり、常に正常な状態にしておくことが重要です。

本事業はその電話システムの根幹である交換機の保守期限切れに伴う交換であり、経年劣化による障害などの万一の事態を避け、電話システムを正常な状態で維持するために計画的な更新が必要となります。

現交換機は平成 19 年に導入したもので、保守対応期限が迫ってきており、行政機能を安定的に継続するために早急な対応が必要です。



常呂総合支所

#### ◎住民センター修繕計画事業

常呂自治区内には5つの住民センターがありますが、各施設とも設置から25年以上を経過し、経年劣化による老朽化が著しい状況にあります。

各施設は、町内会活動や老人クラブの活動拠点として利用されており、また、災害発生時には避難所になる施設であることから、施設機能の維持・向上に向けて計画的な整備が必要です。

### 〈優先事業〉

#### ○常呂まちづくりパワー支援事業

まちづくりパワー支援事業は、自治区住民が自ら考え、自ら実践するまちづくり活動を支援する事業で、地域住民の市民協働、まちづくりへの参加を進めていくうえで、大変効果の高い事業であり、引き続き、推進されることが望まれます。

## 常呂自治区懸案事業一覧

### 1. 自然と共生する安全・安心のまちづくり

#### 《防災の強化》

1	防災行政無線整備事業	同報系無線再送信子局・屋外子局蓄電池交換、 移動系無線の調査研究・基本設計、実施設計、本体工事
---	------------	--

#### 《地球環境保全と循環型社会の構築》

2	ごみ収集運搬委託(車両更新)事業	塵芥収集車・粗大ごみ収集車・資源ごみ収集車更新
3	常呂町一般廃棄物処理センター整備事業	脱窒円盤槽機器改修(汚水処理施設)、 屋根葺き替え修繕(汚水処理施設)

#### 《快適な生活空間の整備》

4	常呂町斎場整備事業	斎場外壁等修繕工事
5	ワッカ原生花園自然再生事業	自然再生に係る調査

### 2. 豊かな心と文化を育てるまちづくり

#### 《生涯学習の充実》

6	常呂町多目的研修センター施設整備事業	暖房用温水ボイラー更新
---	--------------------	-------------

#### 《小・中学校教育の充実》

7	川沿小学校校舎屋根塗装事業	校舎屋根塗装
8	常呂小学校体育館屋上防水事業	体育館及びステージ屋上防水工事
9	川沿小学校旧校舎解体事業	旧校舎解体



《生涯スポーツ活動の振興》

10	常呂町スポーツセンタートレーニング室機器整備事業	トレーニング機器更新
11	旧常呂町カーリングホール整備事業	地下タンク閉鎖、灯油タンク設置、付帯設備の撤去
12	常呂町野球場整備事業	バックネット改修、スコアボード修繕（ルール改正分）、物品庫修繕
13	常呂町屋内多目的競技場整備事業	外壁・アリーナ屋根塗装改修、アリーナ砂入替
14	常呂町健康温水プール整備事業	ボイラー・オーバーフロータンク更新、ろ過ポンプ・温水ポンプ取替修繕、機械設備修繕、空調換気扇・床暖温水ポンプ・電動弁更新
15	常呂町スポーツセンター整備事業	防球ネット更新、トイレ改修、ドア修繕、耐震診断・現況調査
16	常呂町カーリングホール備品購入事業	テーブル・椅子購入、製氷機購入
17	常呂町スポーツセンターシャワー改修事業	シャワー室ボイラー・配管改修

《文化財の保護・継承》

18	史跡常呂遺跡整備事業	史跡整備専門委員会議、遺跡の森復元竪穴住居建替実施設計・整備、トコロシャシ跡遺跡群整備実施設計
19	常呂遺跡世界遺産登録推進事業	発掘調査、有識者検討会議、国重要文化財指定に向けた出土遺物の整理・調査、常呂遺跡出土資料の新規展示
20	ところ遺跡の森運営管理事業	遺跡の森木橋修繕、遺跡の館ガイダンスホールモニター取替、遺跡の館暖房用配管の取替

4. 活力を生み出す産業振興のまちづくり

《地域特性を活かした農業の振興》

21	多面的機能支払交付金事業	営農環境保全活動団体助成
22	かんがい排水事業（明渠排水）常呂地区	排水路整備
23	畑地帯総合整備（担い手育成）常呂福山地区	横断管改修

24	一般農道整備事業（農道保全） 常呂富丘15号	農道改良工事
25	常呂地区明渠排水路取付横断管 応急対策事業	明渠排水路取付道路横断管応急整備
26	常呂地区排水機場施設設備整備 事業	第一幹線・福山・姉問の各排水機場の設備機器の修繕等
27	常呂地区幹線排水路維持管理事業	イワケシ・11号の各排水路の土砂上げ等

#### 《活気ある商業活動の促進》

28	手工芸の館整備事業	手工芸の館改修工事（屋根・外壁・スロープ改修）
----	-----------	-------------------------

#### 《新たな観光資源の活用》

29	ワッカ原生花園周辺施設整備事業	ネイチャーセンター支柱改修、観光馬車小屋改修、 駐車場改修
30	常呂森林公園整備事業	浄化槽設置（バーベキューハウス・パークゴルフ場センターハウス）、パーク ゴルフ場センターハウス改修、アスレチック・四阿・林間歩道連絡橋撤去
31	常呂常南ビーチ海水浴場周辺施設 整備事業	外壁及び電気設備改修

## 5. 住む喜びを実感できる生活優先のまちづくり

#### 《道路網の整備》

32	栄浦地区道路整備事業（常呂）	道路改良工事
33	常呂町北進町3号線道路整備事業 （常呂）	道路改良・舗装工事
34	常呂町南町1号線道路整備事業 （常呂）	測量設計、道路改良・舗装工事
35	常呂町基線道路整備事業（常呂）	測量設計、地質調査、道路改良・舗装工事
36	常呂町南1条線道路整備事業 （常呂）	測量設計、道路改良・舗装工事

37	常呂町川端線道路整備事業（常呂）	測量設計
38	常呂町西10線道路横断管整備事業（常呂）	横断管補修工事
39	朝日橋撤去事業（常呂）	橋梁撤去工事
40	オーバーレイ舗装整備事業（常呂）	岐阜富丘線、6号線

#### 《良好な住宅・住環境の創出》

41	市営住宅改善事業（常呂）	市営住宅南町団地改善工事
42	市営住宅建替事業（常呂）	末広団地建設工事（建設工事・造成工事・外構工事） 北進町団地福祉住宅解体工事

#### 《水道水の安定供給と下水道の整備》

43	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（污水管渠）	公共污水樹設置
44	常呂地区特定環境保全公共下水道事業（雨水管渠）	下水道雨水管整備
45	常呂終末処理場整備事業	水処理設備更新、監視制御設備更新、管理棟・水処理棟防水、長寿命化計画策定、水処理・汚泥処理設備実施設計
46	送配水施設整備事業（簡易水道）	配水管布設替実施設計、配水管布設替工事、ポンプ場外非常用電源切替盤設置工事

#### 《除排雪体制の強化》

47	建設機械更新事業 （社会資本整備総合交付金：常呂）	小型ロータリ・除雪トラック更新
----	------------------------------	-----------------

## 6. 市民とつくる信頼と協働のまちづくり

#### 《住民自治の推進》

48	常呂総合支所電話交換機交換事業	電話交換機交換
----	-----------------	---------

49	常呂まちづくりパワー支援事業	自治区独自のまちづくり活動への支援（補助金）
50	住民センター修繕計画事業	福山地区高齢者コミュニティセンター修繕

## 【常呂まちづくり協議会における協議経過】

協議回数	開催日	場所	内 容
1	8月31日(月) 午後6時00分	常 呂 総合支所	諮 問 常呂自治区内事業の今後のあり方について
2	10月26日(月) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
3	10月28日(水) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について
4	11月11日(水) 午後6時00分	常 呂 総合支所	議 題 常呂自治区内事業の今後のあり方について

【常呂まちづくり協議会委員】

【委嘱期間：H26.6.14～H28.6.13】

	氏 名
委 員	嵐 ふみ江
委 員	石 山 茂 実
委 員	江 田 哲
委 員	鈴 木 倫 子
○副 会 長	田 淵 正 彰
委 員	敦 賀 信 人
委 員	寺 町 敬 子
委 員	野 辺 心
委 員	広 瀬 由 里 子
委 員	安 田 圭 太 郎
委 員	根 本 晃
◎会 長	山 内 光 明
委 員	山 本 穎 治
委 員	横 山 義 雄
委 員	吉 田 富 美 江

50音順